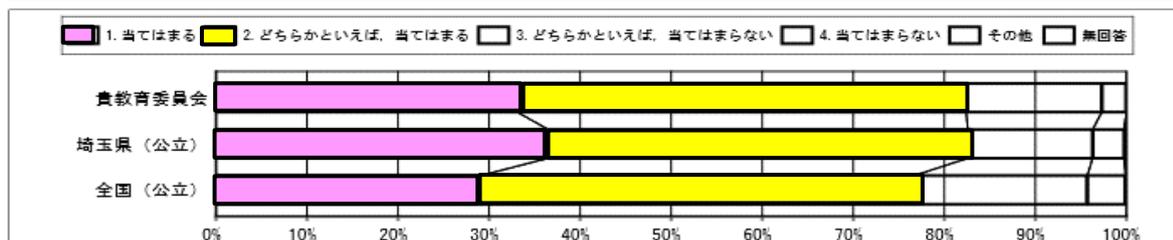


平成30年度 全国学力・学習状況調査 質問紙の抜粋(全国・県との比較)

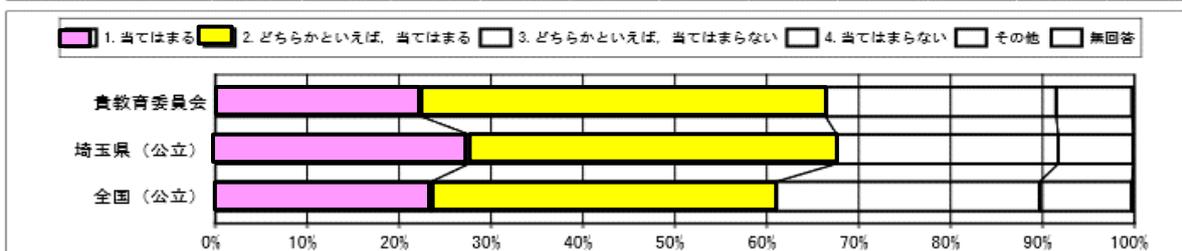
児童質問紙による授業改善への分析

小学校

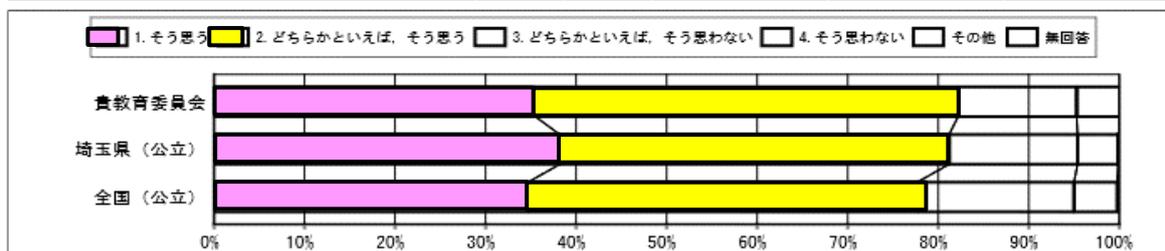
質問番号	質問事項										
(55)	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴教育委員会	33.1	49.3	14.9	2.7						0.0	0.0
埼玉県(公立)	36.5	46.1	13.7	3.5						0.0	0.1
全国(公立)	29.1	47.6	19.0	4.2						0.1	0.1



質問番号	質問事項										
(56)	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴教育委員会	22.4	44.0	25.1	8.3						0.0	0.3
埼玉県(公立)	27.6	40.0	24.1	8.2						0.0	0.2
全国(公立)	23.5	37.5	28.7	10.0						0.1	0.2



質問番号	質問事項										
(57)	学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴教育委員会	35.5	46.7	13.1	4.8						0.0	0.0
埼玉県(公立)	38.2	43.0	14.2	4.5						0.0	0.1
全国(公立)	34.7	43.0	17.3	4.8						0.1	0.1



・質問番号57「学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」の「そう思う」の児童の割合は、昨年度と比べて+7.3%増加し、県や全国とほぼ同一の伸びがみられる。

・質問番号55「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」と質問番号56「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか」では、「当てはまる」の児童の割合は、昨年度と比べほぼ同じになっている。(県や国も同じ)

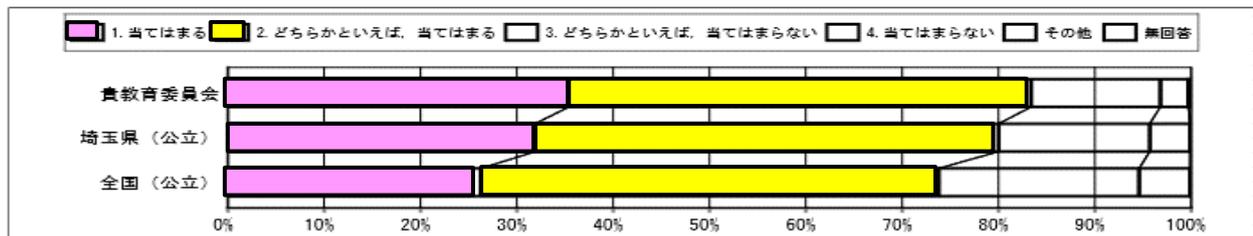
○昨年度幸手市として、「幸手スタンダード授業5」や児童生徒への「言葉かけ改善モデル」、「幸手学びのすすめ10か条」などで授業改善を図ってきた成果が表れている。今後は、児童が主体的に学びたいと思える課題の設定や振り返り、課題に迫ることができる児童間話し合い活動を展開できる授業を展開していくことが必要である。

# 平成30年度 全国学力・学習状況調査 質問紙の抜粋(全国・県との比較)

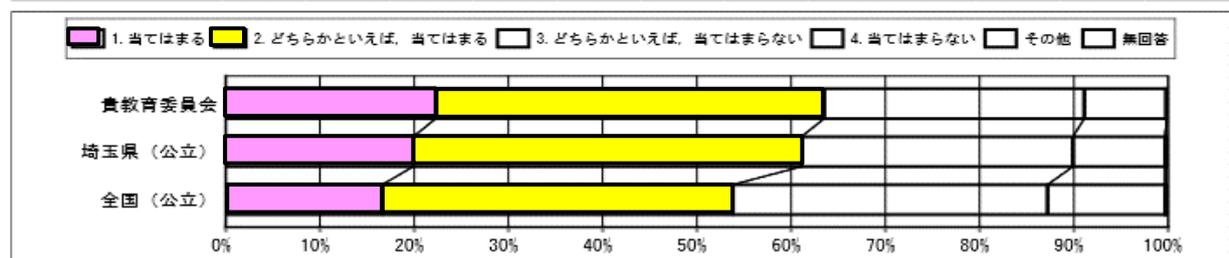
## 生徒質問紙による授業改善への分析

### 中学校

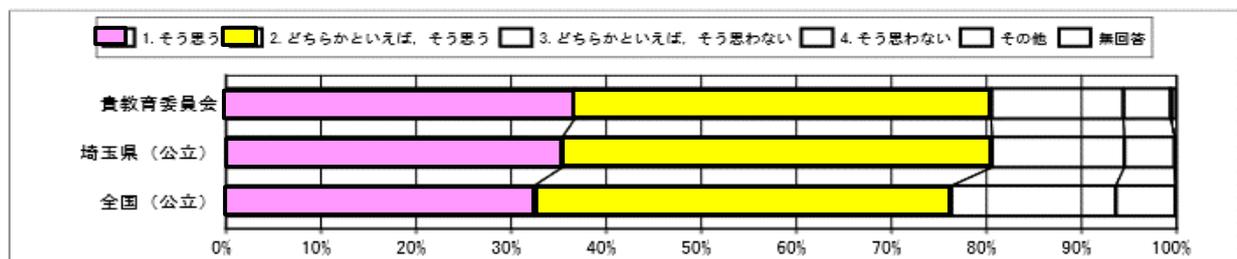
質問番号	質問事項											
(52)	1. 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	35.4	48.0	13.4	2.9							0.0	0.3
埼玉県(公立)	31.9	48.1	15.7	4.2							0.0	0.1
全国(公立)	26.3	47.5	20.8	5.3							0.0	0.1



質問番号	質問事項											
(53)	1. 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	22.3	41.2	27.6	8.7							0.0	0.3
埼玉県(公立)	19.9	41.2	28.8	9.8							0.0	0.2
全国(公立)	16.6	37.2	33.4	12.5							0.0	0.2



質問番号	質問事項											
(54)	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	36.7	43.8	13.9	5.0							0.0	0.5
埼玉県(公立)	35.4	45.2	13.9	5.3							0.0	0.1
全国(公立)	32.4	43.9	17.3	6.3							0.0	0.2



・質問番号52「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」では「当てはまる」の生徒は昨年度に比べ、+15.9%、質問番号53「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか」では「当てはまる」の生徒の割合は、昨年度に比べ+10.2%、質問番号54「学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」の「そう思う」の生徒の割合は、昨年度と比べて+24.3%増加し、県や全国よりも大きく伸びている。

○数値によると中学校における授業改善が進んでいることがわかる。しっかりと課題を立てることや教師による一方的な授業ではなく、生徒間で話し合い、課題解決する授業の展開がなされてきている。今後は、小学校同様、授業の質の向上と生活習慣の改善を両輪として取り組んでいく必要がある。